

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21038	
事業名	特別支援教育費						
評価担当課	所属名	教) 学校教育部 教育推進課					
	課長名	山田 浩富	担当者名	大谷 和也	電話番号	011-211-3851	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	本市の特別支援教育に関する諸問題を調査したり、教育的支援を必要とする子どもの適切な就学の場を検討したりするため				
		長期	障がいのある子どもへの就学手続きを含めた早期からの一貫した支援を充実させるため				
	取組内容	子どもやその保護者、学校等に対し適切な支援を行うとともに、市民等への理解・啓発を行い、特別な教育的支援を必要とする子どもの教育を推進する。 【具体的な事業内容】 「札幌市特別支援教育振興審議会の運営」、「札幌市学びの支援委員会の運営」、「理解・啓発のための冊子・パンフレット等の作成」、「北翔・豊成養護学校看護師配置事業」、「札幌市立小中学校における看護師配置モデル事業」、「特別支援学校医療相談事業」など					
	実施結果	令和3年度において、札幌市学びの支援委員会にて1,453件の就学相談を実施した。 また、北翔養護学校に看護師を6名、豊成養護看護師を4名ずつ配置した。					
事業実施における工夫点	なし						
対象者	障がいのある子ども及びその保護者			開始	昭和48年度	終了	0年度
関連法令・条令・要綱等	・札幌市特別支援教育振興審議会・札幌市学びの支援委員会要綱 ・札幌市特別支援学校医療相談事業実施要綱						
他都市の状況	・札幌市学びの支援委員会(教育支援委員会):他政令市設置している。 ・北翔・豊成養護学校看護師配置事業:特別支援学校を設置する他政令市も看護師を配置している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	47,458	76,000	56,654	86,000	
うち特定財源	13,150	21,074	15,846	24,930	
人工	3.6	3.6	3.6	3.6	
人件費	25,920	25,920	25,920	25,920	
計(事業費+人件費)	73,378	101,920	82,574	111,920	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの支援委員会(27千円)</li> <li>豊成・北翔養護学校看護師配置事業(32,063千円)</li> <li>特別支援学校医療相談(1,046千円)</li> <li>小中学校への看護師配置モデル事業(18,063千円)</li> <li>その他(5,455千円)</li> </ul>			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの支援委員会(379千円)</li> <li>豊成・北翔養護学校看護師配置事業(36,434千円)</li> <li>特別支援学校医療相談(1,444千円)</li> <li>小中学校への看護師配置モデル事業(42,345千円)</li> <li>その他(5,398千円)</li> </ul>			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	看護師を配置した学校の割合			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	58	100	100	100	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	【札幌市学びの支援委員会】就学相談件数の増加により、自校内の特別支援学級転学に係る就学相談の手続きを一部変更し、就学相談の円滑化及び業務効率化を図った。 【小中学校への看護師配置事業】医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍しており、看護師配置を希望する全ての学校(6校)に看護師を配置することができた。また、配置頻度について昨年度の週3日から週5日に拡充した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本事業では、本市の特別支援教育に関する諸問題を調査審議する特別支援振興審議会、教育的支援を必要とする子どもの適切な就学の場を検討する学びの支援委員会の運営、肢体不自由特別支援学校への看護師の配置、小中学校への看護師配置などを効率的かつ最少の経費で実施している。他政令市においても同様の事業を実施しており、今以上の運営費の削減は事業実施に支障をきたす恐れがあるため、事業規模は妥当と思われる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	【小中学校への看護師配置モデル事業】人材派遣会社との委託契約により、看護師配置の形態を医療的ケアの内容に応じて類別することで過不足なく、かつ、効率的に配置することができた。 【その他の事業】他政令市においても同様の事業を実施しており、現状においては適切と考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	特別な教育的支援が必要な子どもに対する適切な就学機会の確保は、行政が責任をもって実施するものであり、対象者のニーズに応じた教育環境の提供に必要な不可欠である。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	【札幌市学びの支援委員会】、自校内の特別支援学級転学に係る就学相談の手続きを拡充していく。 【小中学校への看護師配置モデル事業】小中学校のみならず、医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍しており、看護師配置を希望する市立高校や市立幼稚園があれば、該当校及び園に看護師を配置していく。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	小中学校への看護師配置モデル事業の看護師配置頻度について、週3日から週5日に拡充した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	小中学校への看護師配置モデル事業について、医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍しており、看護師配置を希望する全ての学校に対し、看護師を配置することができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善    ● 現状維持    ○ 休止・廃止 今後も医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍しており、看護師配置を希望する全ての学校に対し、看護師配置を行い、医療的ケアが必要な児童生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう支援体制を整えていく。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 令和5年度予算要求 看護師派遣(市立小中学校等) 63,981千円(@18,359円×205日×17校)		見直し効果額	0 千円